

富士の山は富岳ふがく三十六景にあります様に、時と場に於いてその姿を変えております。刻々富士山自身も変化をしていますが周りの環境の変化で見える姿が大きく変わります。例えば、晴天下で見る素晴らしい富士、夕焼けに浮かぶ赤富士、雲に隠れて見えない富士、雪に光る富士、等々の姿であります。是これ即ち心経の 色不異空 空不異色 色即是空 空即是色 受想行識 亦復如是」と意を同じくするところ大です。富士山自身を因ひしよまきとすればおかれた環境を縁として我々の目に映るのでしよう。我々の心も体も一時として止まる事無く因と縁によって様々に変化しつづけるのです。

動植物を育てるのも大変ですのに、ましてや感情の動物と言われる人間様を育てるのは至難しなんの事でしょう。時々、節々があるにせよ、育てる環境も決して整っていないとは言えない中、なかなか難しいものです。学生にあっては不登校の問題や虐めいじの問題、就職の問題、学生を含めて年間三万人強の自殺者、等々の問題は日本国内に於いてですが文明社会先進国と言われる国々にとっても大きな問題となつていのです。思慮しりよふんべつ分別善悪の知識を身に付けても実際には善行、悪行の判断を金に縛しばられ、金や地位に目が眩くらみ善行を葬ほうむり、悪行に走つてしまふ人もいるのです。信念の欠如けつじよが問題なのか、意志が弱いのか分かりませんが実践する結果が損、得ではなく、尊、徳と成るような生活をして頂きたいのです。低俗な人間としてではなく、尊い人間として生きてほしいからです。人間界に生を受けた我々は皆共に佛ほとけの子です。磨みがけばお経に出てくる 尊者・と成れる資格があり、可能性もあるからです。

庄子そうじならずとも多くの方々は森羅万象形の有無に關係なく其々に使命をもつて存在しているのだと思つてみます。親鸞いわ曰く自然法爾の姿なのです。思えば地球上に生息する人間が地球と共に生きていく為には、物の命を最大限に生かす、生かしてやる事が大切であり、その所作が人間を含めて物を育てると言う事になり、全てに感謝出来、有り難い、もったいない、と言う気持ちを生じる様になるのでしよう。

災害が起きて改めて知る水や空気の大切さ、植物、生物、鉱物等々、地球上にある物全てが尊い物なのです。我々は此の事を忘れて生活をすれば罪つみを作る事になり、やがてはそれこそ罰ばちがあたると思っています。私は此の所作が正しく、お釈迦様がお説きになった 大正道「八つの正しい道、法則であると思ひます。正しい智慧のもとに正しい行いが出来る様、子々孫々に伝授し見守り、育て行く事でしょう。

今、地球上に於いて生態系の変化により、絶滅種が増え続けているそうです。人間に影響えいじやうが無いとは言い切れません。粉骨碎身ふんこつさいしん、皆で助け合ひ地球を守りましょう。

二十三年七月一日

善壽男善入院油掛地蔵尊